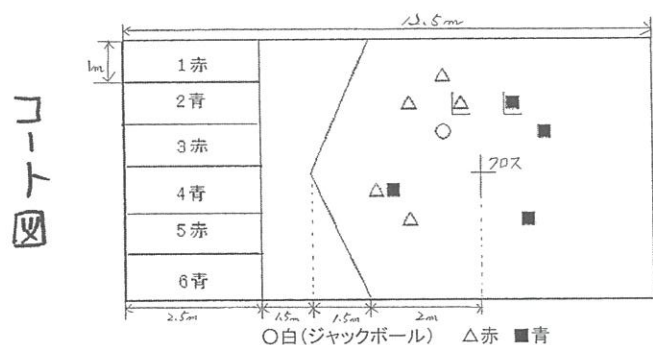


おおまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町 1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

ボッチャ BOCCIA



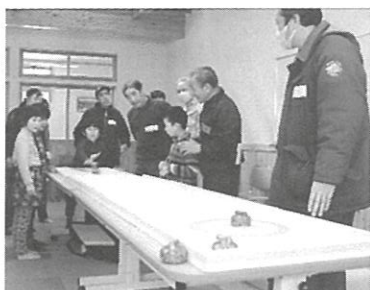
ルール

- ・1対1で行う個人戦、2対2で行うペア、3対3で行う団体戦があります。
- ・いずれも1チーム6個のボール(赤または青)をジャックボール(白)に近づけるように投げます。
- ・投げる順番は
 - ①赤チームの左端の人がジャックボールを投げます。(2ゲーム目は青チームの左端の人が投げて、後は同じ要領で)
 - ②同じ人が赤ボールを投げます。
 - ③青チームの誰かが青ボールを投げます。
 - ④以降はジャックボールに近い方のチームの誰かが投げます。
 - ⑤一方のチームの投げるボールがなくなれば、もう一方のチームが連続して投げます。
- ・ジャックボールや他のボールに当たっても、そのまま続けます。
- ・ジャックボールがコートの外に出た時は、ジャックボールをクロス位置に戻します。
- ・得点は
 - ①双方のチームの最もジャックボールに近いボールを比較し、どちらが近いかを判定(赤)し、
 - ②ジャックボールに遠かった方のチーム(青)のジャックボールに一番近いボールとジャックボールを結んだ線を半径とし、ジャックボールを中心とした円を描き
 - ③その円の中に何個赤ボールがあるか数えます。その数が得点となります。
 - ④まったく等距離の時のみ、1対1になる。
- ・個人戦とペア戦は4ゲーム、団体戦は6ゲーム行い合計点を競います。
- ・ボールを投げられない人は補助具(ランフス)を使うことができ、介助を受けることができます。
- ・介助者はゲーム中コートの内を見てはいけません。

2020年東京オリンピックの後に開催される「パラリンピック東京大会」障がいのある人の国際競技大会です。その種目の中で、この頃テレビなどで紹介されるのが「ボッチャ」です。ボッチャは、身体に重い障がいのある人のためにイタリアで考え出された競技で、ルールは冬のスポーツカーリングに似ています。障がいのある人もない人も、年齢に関係なくみんなが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツです。ボッチャとは、イタリア語でボールの意味です。競技はもちろん、ゲームとしても楽しめるボッ



ボッチャ体験(北小)



カレット



手作りゲーム

チャを体験してみませんか。社協では、ボッチャを気軽に体験していただけるよう、6セット貸し出し備品として用意しています。また他にも健康づくりやレクリエーション・ゲーム用として、「マグネット吹き矢」「カーレット(卓上カーリング)」「輪投げ」、その他手作りレク用品なども用意しています。学校や職場、地域などの交流会にご利用ください。あらかじめ予約をお願いします。

連絡先

大町市社協

TEL 総機 22-1501

社協は、出前講座を行っており、昨年度は、市内小学校3校で10回、中学校1校で3回、高校で2回と、いろいろな福祉体験を行いました。体験内容は、点字・手話・要約筆記・車いす・アイマスク・ガイドヘルプ・ボッチャ・高齢者疑似体験や障がいのある方との交流も行いました。福祉体験は、学校だけでなく地域や職場でも体験していただいています。

今、誰もが安心して住み慣れた所で暮らし続けられるような、地域づくりが求められています。そのためにはお互いを知ることが大切になります。いろいろな疑似体験や交流は、相手の気持ちをわかりあえる手段の一つです。お気軽にご相談ください。

やさしくそなんどう
出前講座

貸し出し備品紹介

体験から知ろう

お互いのまのまちづくり

ボラセンに登録も 活動も応援

新規
更新

。ボランテアセンターと連携し、市社協の行う事業に協力できること。

登録するメリットは…

- ・ボランテア活動保険に加入でき、掛金の補助が受けられます。
- ・ボランテア活動助成金の申請ができます。
- ・市総合福祉センター内の会議室使用料が無料になります。
- ・コピー機・パソコン・インターネットが格安に使用できます。
- ・ボランテア情報紙などに、活動紹介やイベント情報を掲載できます。

ボランテア活動助成金 申請受付中

地域福祉活動の推進を図るために、登録ボランテア団体が行っている活動に対して、活動に要する経費の助成を行います。

対象になる事業は…

- ① 学習・研修活動、勉強会、視察研修、スキルアップ講座など
- ② 広報・教育活動、広報紙の発行や講演会の開催
- ③ 活動に必要な福祉器具などの整備
- ④ 環境美化や施設訪問など

助成額は…

- ・対象事業に要した経費の1/2
- ・限度額 5 万円
- ・助成期間 1 年

2月9日開催 大町市社会福祉大会

山崎 登氏講演「災害情報と災害報道」より

- ・現在の災害報道は、危険が迫っているという予報に関する情報提供が進んでいる。
- ・災害時大切なのは、いかに正確な情報を得るか、発信するか。
- ・過去の災害から「自分だけは大丈夫」と大変な状況に置かれても、避難しない人が多い。情報をいかに有効に使うかが大事。
- ・災害は、社会の弱点を浮き彫りにして加速する。日常の取り組みや地域のつながりによって、被害は格段に違う。
- ・災害が発生した時、災害情報や報道が人の命を救う手段の一つだが、その情報を個人の生活や地域の活動の中で、いかに活用するかが今後の課題であり、防災や減災への取り組みが必要。
- ※そこで社協では、地域での災害サポーター養成講座に、職員派遣を行っています。

申込締め切り
5月15日(水)まで
問い合わせ
大町市ボランティアセンター
(大町市総合福祉センター内)
TEL 有線 22-1501

無料開放デー

大町市総合福祉センター
公衆浴場

日頃のご愛顧に感謝し、
公衆浴場を無料開放します。

5月5日(日) こどもの日

午前10時から午後9時まで

3階の展望風呂には、サウナも完備！
入浴後にゆっくり休憩できる和室や、
マッサージ機もあります。

当日はどなたでも終日無料で入浴していただけます。

ぜひこの機会に、ご利用ください。

ゴールデンウィーク中は、定休日の月曜日
も除き、毎日営業しています。

義援金送金報告と 募集期間延長

- ・「東日本大震災義援金」13,961円
- ・「平成30年北海道胆振東部地震災害義援金」119,393円
- ・「平成28年熊本地震災害義援金」10,333円
- ・「平成30年7月豪雨災害義援金」16,777円

それぞれ4月10日に、中央共同募金金・日本赤十字社に送金しました。また、義援金の募集期間が延長されています。

- 6月30日まで「7月豪雨災害義援金」
- 9月30日まで「北海道胆振東部地震災害義援金」
- 2020年3月31日まで「東日本大震災義援金」「熊本地震災害義援金」

引き続き、ご協力をお願いします。

寄付して!!

「青..鳥郵便はがき」

郵便局で、身体障害者手帳1級、2級が療育手帳A、1度、2度の手帳をお持ちの方を対象に、無償で1人20枚の「青い鳥郵便葉書」を、4月1日から5月31日まで配布しています。郵便局の窓口で受け取るか、郵送でもOK。この葉書が不要な方は、市身障協に寄付してください。当協会の運営に使用させていただきます。

問い合わせは、大町市身体障害者福祉協会
西原さんまで TEL 22-8150